

クリアーカムMS-232取扱説明書



松田通商株式会社

クリアーカムMS-232取扱説明書

1.概要

MS-232は、安定化電源及び、2チャンネルの2Uサイズラックマウントタイプインターカムメインステーションです。モニター回路は、マイクプリアンプ、ブリッジ回路、ヘッドセットとスピーカーをドライブする能力をもつパワーアンプで構成されています。

また、オプションのG.M（グーズネックマイク）仕様も可能です。

このメインステーションは、ベルトバックリモートステーション（RS-501等）では30台。スピーカーステーション（KB-111A等）では10台まで接続できます。

2.プログラムモニター

MS-232においてプログラム信号はインターカムラインにミックスされず、フロントパネルにあるプログラムボリュームにより、A・Bチャンネルに送り出したプログラムレベルとは独立したレベルでモニターできます。

3.プログラムモニターをインターカムラインに重畳する

A・B各チャンネルのインターカムラインに、外部プログラムを重畳させ、各ステーションでのモニターを可能にします。プログラム送り出しは、A・B独立したレベルコントロールにより、独立にセットできます。

4.ステージアナウンス

フロントパネルにあるステージアナウンススイッチを押すことにより、リアパネル上の専用コネクター（XLR-3-32タイプ）から、MS-232のトーク（送話）シグナルをインターカムラインと独立して出力することができます。

また、アナウンスリレーコンタクトターミナルにより、ローカルモニターのミュートリレー等のコントロールを、アナウンスボタンと同時に動作させることができます。

5.モニター

スピーカー及びヘッドセットの音量は、フロントパネルのリッスンレベルボリュームで、A・B独立してコントロールされます。

6.サイドトーン

フロントパネルにあるサイドトーンアジャストを調整することにより、MS-232に接続したヘッドセットマイクのヘッドフォン、スピーカーへ戻ってくる送話信号のレベルをコントロールできます。これをコントロールすることにより、外部スピーカーからのハウリングを防ぐことができます。

7.電源部

MS-232内部の安定化電源回路は、接続ラインのショートに対するサーキットプロテクションを持っており、ラインがショートした場合やオーバーロード状態になると自動的にショートサーキットセンサーが作動し、フロントパネルにあるショートインジケーターが点灯します。ショートの原因を取り除くと5秒以内に自動的に復帰します。

8.コネクタ

リアパネルには、A・Bチャンネルコネクタとして、各3個のXLR-3-32タイプコネクタ、ステージアナウンス出力用として1個のXLR-3-32タイプコネクタ、外部プログラム入力用としてXLR-3-31タイプコネクタが備わっています。

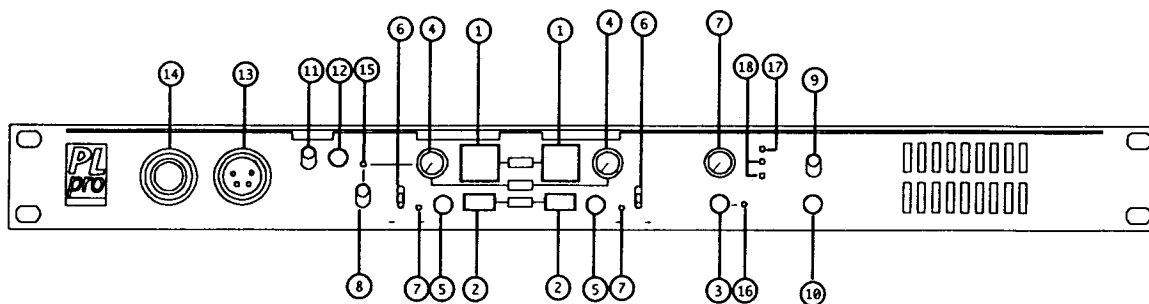
9.ステーションの接続

各ステーションの接続ケーブルには、標準2芯シールドケーブル、及びXLR-3型コネクタを、下記のように接続してください。

P I N	1	グラウンド (シールド)
	2	+ 3 0 v
	3	インターカムライン

10.ターミネーション

クリアカムシステムには、一つのインターカムチャンネルに必ず一つターミネーションが必要です。このターミネーションは、通常電源部を持つメインステーション (MS-232等) に備わっています。もしMS-232を、リモートステーションとして又はメインステーションを複数台使用する場合 (他のステーションでターミネーションスイッチをONにしてある場合)、リアパネルに配置された各A・BチャンネルのターミネーションスイッチをOFFにする必要があります。



(フロントパネル機能説明)

① TALK ボタン

TALK ボタンを押すと点灯し、マイクロフォン音声チャンネルに送られます。

：ラッチ ボタンを押すことによりON-OFFの交互動作となります。

：モーメントリー ボタンを0.25秒以上押すことによりモーメントリー動作となり、ボタンを離れた時、OFFとなります。

TALK INDICATION

TALK ボタンは、トークONの時薄く点灯します。

CALL INDICATION

トークボタンはチャンネルがコール信号を受けたとき、明るく点灯します。

② CALL ボタン

それぞれのチャンネルには専用のコールボタンが有ります。コールボタンを押しているときは、チャンネルのトーク回路の動作と関係なく常にコール信号が送られます。

コールボタンが押されている間、そのチャンネルのTALK ボタンが明るく点灯するのは、ライン上にコール信号が送られていることを表示しています。

③ トーンアラート

コール信号を受け取った場合に、フロントパネルのインジケータが見えない場所にいる人に対してブザーを鳴らして呼び出します。ボタンはON/OFFを交互に切り替えます。ONになっているときは緑色のLEDが点灯します。ブザーは外部に接続されたステーションからのコール信号には反応しますが、自分で押した場合には鳴りません。

④ リッスンレベルコントロール

それぞれのチャンネルは独立したリッスンレベルコントロールを持ち、通常リッスン回路はONの状態になっています。チャンネルの音声を聴くときはコントロールノブをまわしレベルを設定してください。また、完全に絞りに切った状態でOFFとなります。

⑤ サイドトーンコントロール

それぞれのチャンネルにはサイドトーンコントロールを持ち、ヘッドセットへ自分のマイクからの音声の返るレベルが最小となるように調整します。この調整により通話の明瞭度がより向上します。また、同一パーティーライン上の子機の数量の増減により負荷が変化した場合には、再度、調整が必要となります。

⑥ プログラムスイッチ

ON チャンネルにプログラムを重畳します。

OFF チャンネルにプログラムを重畳しません。

INT TALK がONになった時、重畳していたプログラムは中断されます。
(タレントキュー、楽屋モニター用)

⑦プログラムセンドレベルコントロール

それぞれのチャンネルには、プログラムセンドレベルコントロールが有り、プログラムセンドをONにした時センドレベルを調整します。

プログラムモニターコントロール

このコントロールは、ヘッドセット、スピーカーの音量のみをコントロールし、インターカムラインへのプログラムには影響しません。

⑧リンクスイッチ

通常、ch Aとch Bは独立しており、ch Aとch Bのステーション間の通話はできませんが、リンクスイッチをONにすることにより、A・Bすべてのステーション間で通話が可能となります。

A+Bのリンクモードでは、ch Aのコントロール機能のみとなります。

(NOTE) LINK A+Bのポジションはチャンネルがリンクするのではなく、BチャンネルのコネクターがB回路からはずれ、チャンネルAのパーティーラインとなります。

(注意) リンク機能はターミネーションが正しくセットされている時に動作します。数台のメインステーションを持つシステムでは、ターミネーションOFFのリンクスイッチは機能しません。また、ダブルターミネーションなどの誤った接続においては、フィードバックや発振などがおこります。

⑨スピーカーON/OFFスイッチ

スピーカーでのモニターON/OFFを切り替えます。

⑩リモートマイクキル

クリアカムRS-501, RS-502, RS-522ベルトバックは、DC供給電圧を瞬間的に切ることにより、マイクロフォンTALK回路をOFFにすることができます。

リモートマイクキルボタンを数秒間押し続けることにより、チャンネル内のベルトバックのマイクをOFFにすることができます。

⑪マイクセレクトスイッチ

本体に接続されたグースネックマイクまたは、ヘッドセットマイクの切り替えをします。

⑫ステージアナウンスボタン

ステージアナウンススイッチを押すことにより、MS-232のトーク（送話）シグナルをインターカムラインと独立して出力することができます。ステージアナウンスボタン押した場合には、インターカムラインへのトークはOFFとなり、離すとONに戻ります。

タレントキュー、楽屋などのインカムシステム外部のシステムに直接トークをするために使用します。

⑬ヘッドセットコネクター

ヘッドセットコネクターはXLR-4-32タイプで標準クリアカムヘッドセット仕様に対応しています。

マイクロフォン 200Ω ダイナミックタイプ

ヘッドフォン 50~1kΩ ダイナミックタイプ(CC-85 400Ω CC-250 200Ω)

⑭パネルマイクコネクター

1/4インチフォーンジャックで、クリアカムのGM-18又はGM-9を取り付けるためのジャックです。

⑮A+B LED

A+BスイッチがONのとき、緑色のLEDが点灯します。

⑯トーンアラートLED

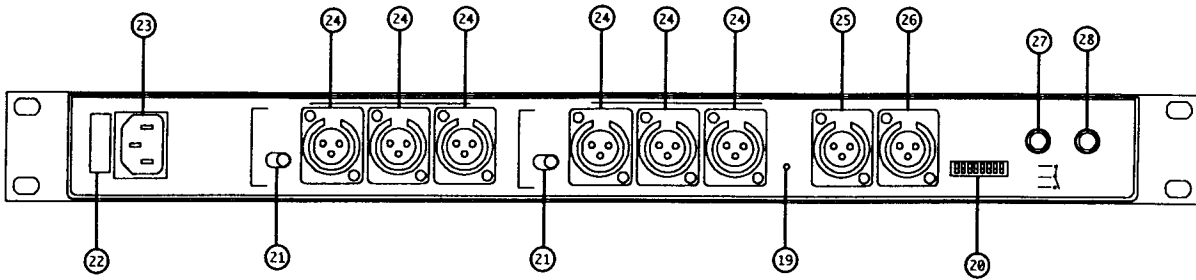
トーンアラートがONのとき、緑色のLEDが点灯します。

⑰パワーLED

AC電源が供給された状態で、リアパネルのスイッチがONのとき、緑色のLEDが点灯します。

⑱ショートLED

ch A/ch Bそれぞれについて、ショート又はオーバーロードの場合に赤色のLEDが点灯します。原因を取り除くと自動的にリセットされます。



(リアパネル機能説明)

①⑨ トーンアラートボリューム

トーンアラートの音量を調整するためのボリュームです。
システムアップの際に調整するもので、通常の実操作では調整し直す必要はありません。

①⑩ オプションスイッチ

8つのオプションを設定するためのスイッチで、システムアップの際に設定しておきます。
通常の実操作では操作しません。

- | | |
|------------------|--|
| 1:MOM TALK A | c h Aのトークスイッチをモメンタリー動作で固定し、ラッチ動作を無効にします。
このモードの場合、オペレーターは送話の際常にトークボタンを押している必要があります。 |
| 2:MOM TALK B | c h Bのトークスイッチをモメンタリー動作で固定し、ラッチ動作を無効にします。
このモードの場合、オペレーターは送話の際常にトークボタンを押している必要があります。 |
| 3:CALL ON TALK A | c h AのトークボタンがONの時は常にコール信号を送り出すように設定します。
これは、他のステーションやIFBに対してのプログラムインタラプトを機能させるためのものです。 |
| 4:CALL ON TALK B | c h BのトークボタンがONの時は常にコール信号を送り出すように設定します。
これは、他のステーションやIFBに対してのプログラムインタラプトを機能させるためのものです。 |
| 5:INTRPT ANNC | ステージアナウンススイッチが押されている間はマイクからの入力をインターカムラインから切断します。館内放送などの際、連絡系統とは切り放して放送することができます。 |
| 6:INTRPT EXT IFB | HOT MICアウトプットにクリアーカムのIFBシステムが接続されているときにIFB装置のキーを押すと、選択されたヘッドセット又はマイクが、インカムラインから切断されます。この機能を使用すると、MS-232のマイクを利用して、インカムラインに影響を与えずにタレントに対してのQUEが送れます。 |
| 7:LONG LINE A | もしもc h Aでやむを得ず300m以上の長距離の引き回しが必要な場合にONにしてください。このスイッチの設定により、ナリングの機能が働きます。 |
| 8:LONG LINE B | もしもc h Bでやむを得ず300m以上の長距離の引き回しが必要な場合にONにしてください。このスイッチの設定により、ナリングの機能が働きます。 |

①⑪ ターミネーションスイッチ

それぞれのインターカムチャンネルには、ターミネーションスイッチが有り、インターカムライン上に複数のメインステーションが有る場合に簡単に設定することができます。

(注意) 最適なインターカムラインを構成するためには、クリアーカムライン上のターミネーションを1ヶ所にしなければなりません。
(誤設定によりダブルターミネーションやノーターミネーションになると、レベルダウンや発振などが起こり機能に支障をもたらします。)

⑳電源スイッチ

電源スイッチは、リアパネル左にあり、スイッチにON/OFFの表示が記入されています。

㉑電源コネクタ

電源スイッチのすぐ右にあります。付属の3ピンACケーブルを使用してください。

IEC Type 320 コネクタ 90~240VAC 50/60Hz

㉒インターカムラインコネクタ

A・Bチャンネルコネクタとして、各3個のXLR-3-32タイプコネクタがあります。

標準クリアーカムワイヤリング	PIN	1	グラウンド (シールド)
		2	+30v
		3	インターカムライン

㉓プログラムインプットコネクタ

入力は、電子バランスインプットでXLR-3-31タイプコネクタです。

入力レベル -20dBv~+10dBv

ワイヤリング	PIN	1	グラウンド (シールド)
		2	(+) AUDIO
		3	(-) AUDIO

㉔ステージアナウンスアウトプット

出力は、トランスフォーマーアウトプットで600Ω 0dBv、XLR-3-32タイプコネクタです。

ワイヤリング	PIN	1	グラウンド (シールド)
		2	(-) AUDIO
		3	(+) AUDIO

㉕ステージアナウンスリレーアウト

アナウンス出力専用コネクタ (XLR-3-32タイプ) のほかに、アナウンスリレーコンタクトジャック (1/4インチフォーン) により、ローカルモニターのミュートリレー等のコントロールを、アナウンスボタンと同時に動作させることができます。

Ring	Nomally Closed Contact
Tip	Common Contact
Sleeve	Nomally Open Contact

㉖ホットマイクアウト/IFBシステム

このジャック (1/4インチフォーン) から、選択されたヘッドセット又はパネルマイクの信号を0dBvで出力します。この出力はクリアーカムIFBシステムのエクスターナル・ラインインプット・ジャックとのインターフェイスとして使用します。

Ring	Ext. IFB コントロール信号入力
Tip	ホットマイク・アウト
Sleeve	グラウンド (シールド)